

2025年11月5日

各 位

東京都台東区上野1丁目15-3

会社名 **株式会社ナガホリ**

代表者名 代表取締役社長 長堀 慶太

(コード番号 8139 東証スタンダード)

問合せ先 常務取締役管理本部長 吾郷 雅文
(TEL. 03-3832-8266)

令和8年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想の
上方修正に関するお知らせ

当社は、令和7年5月9日に公表いたしました令和8年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 令和8年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想数値の修正（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 10,900	百万円 350	百万円 300	百万円 120	円 銭 7.83
今回発表予想（B）	12,546	449	385	211	13.76
増減額（B-A）	1,646	99	85	91	
増減率（%）	15.1	28.3	28.3	75.8	
（ご参考）前期第2四半期実績 (令和7年3月期第2四半期)	11,117	339	310	139	9.07

(2) 令和8年3月期の連結業績予想数値の修正（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 22,400	百万円 900	百万円 750	百万円 400	円 銭 26.08
今回発表予想（B）	24,000	950	770	400	26.08
増減額（B-A）	1,600	50	20	0	
増減率（%）	7.1	5.6	2.7	0.0	
（ご参考）前期実績 (令和7年3月期)	22,891	723	650	406	26.50

2. 修正の理由

ジュエリー業界におきましては、インバウンド需要が落ち着く一方で高額商品需要も見られ、金地金価格の上昇が続くなか地金製品が好調に推移するなどの動向が見られました。一方で、製品価格の上昇や世界の政治経済動向がジュエリー商品に与える影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。また、前期3月に店舗を開設した海外の有力ブランドによる商品力強化、財務の安定のため当座貸越等の契約締結を図り、販売増につながる商品仕入や自社ブランドの雑誌及びSNSでの広告等により販売強化を図りました。一方で、金価格高騰の中、地金製品販売がグループ各社で増加し、グループ内製造の増大につながりました。さらに、海外販売網の拡大や小売店舗販売などグループ各社において積極的に取り組みました。

これにより、当中間連結会計期間につきましては、売上高が予想を上回り、売上総利益も予想を上回った一方で、販売費及び一般管理費の増加を抑えることができたため、営業利益は予想を上回り、営業外損益も予想の範囲内に収まったため、経常利益も予想を上回ることとなりました。また、リ・ジェネレーション株式会社その他の複数の株主らが、当社株式を大量に買い集めている状況に関連する株主対応等に係るアドバイザリー費用を特別損失に計上しましたが、経常利益の増益等を受け、親会社株主に帰属する中間純利益も予想を上回る見込みであります。

以上の結果、令和8年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想を上方修正することになりました。

通期連結業績予想につきましては、中間期の販売動向から売上高の増加が見込まれることを織り込み、営業利益、経常利益は当初予想を若干上回ることが見込まれますが、法人税等の影響から親会社株主に帰属する当期純利益は当初見込み通りの予想となっております。

これらの結果、令和7年5月9日発表いたしました令和8年3月期の第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により変動する可能性があります。

以上